



2013年2月26日

報道関係各位

ジェットスター・ジャパン株式会社

ジェットスター・ジャパン、日本航空及びカンタス航空と コードシェア・マイレージ提携

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:鈴木みゆき、以下:ジェットスター・ジャパン)は、本日、日本航空(本社:東京都品川区、代表取締役社長:植木義晴、以下、日本航空)およびカンタス航空(本社:オーストラリア、CEO:アラン・ジョイス)とコードシェア・マイレージ提携を開始することをお知らせいたします。

これにより日本航空の国際線お乗り継ぎのお客様は日本航空のコードシェア便として、ジェットスター国内線をご利用頂けるようになります。また、JAL マイレージバンク会員のお客様はマイルを活用し、ジェットスター国内線のご利用が可能となります。日本航空のお客様は2013年2月27日より予約できるようになり、3月6日ご搭乗便からご利用いただけます。

カンタス航空とはコードシェア提携を予定しており、カンタス航空のお客様は3月より成田経由でジェットスター国内線をご利用頂けるようになります。また、カンタス・フリークエントフライヤー会員のお客様はジェットスター国内線ご利用によりポイントを貯めることが可能となります。

ジェットスター・ジャパン代表取締役社長の鈴木みゆきは、次のように述べています。「今回、重要なパートナーである日本航空およびカンタス航空とコードシェア及びマイレージ分野での提携を結ぶことができたことを大変嬉しく思います。日本各地に就航するジェットスター国内線と日本航空国際線がつながることにより、日本の航空ネットワークの利便性が向上し、更なる新規需要開拓につながることを期待しています。今後、日本航空のお客様にジェットスター国内線をご体験頂けるようになることを楽しみにしています。また、カンタス航空との提携を通じ、より多くのインバウンド旅客に日本の観光地の魅力を伝えることにより、各就航地の観光業および地域経済活性化に貢献していきたいと思っております。」

<ジェットスターグループについて>

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の売上高を誇り、最も急速に成長しているLCCです。ジェットスターグループは日本、オーストラリア、ニューージーランド、シンガポール、ベトナムに航空会社を有し、2013年には香港(関係当局の承認を前提とする)にも設立予定です。ジェットスターグループ全体で、アジアの30都市及び中国の8都市を含むアジア太平洋地域の約60都市に週3,000便を運航しています。2012年会計年度には、ジェットスターグループ全体で2,060万人超のお客様にご利用頂きました。

<ジェットスター・ジャパン株式会社について>

ジェットスター・ジャパンは2012年7月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄間に就航を開始したLCCであり、2013年3月より名古屋と大分、2013年5月より鹿児島にも就航を予定しています。国内線就航時には、A320型新造機3機(180席)で運航を開始しており、2014年末までに24機まで増強する予定です。また、2013年には短距離国際線の運航開始(関係当局の承認を前提とする)を予定しています。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。